

農業融資営農類型別目利き研修

研修目的・ゴール等	農業融資にかかる営農類型別の基礎知識を理解のうえ、実務知識・ノウハウを活用し、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の農業融資にかかる担当者および新任管理者
適正人数	推奨：24名（上限：36名まで）
研修日程	1日～2日（1日でも可だが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可） （1日開催の場合 9：30～16：30）
研修講師	J - P A O

【研修プログラム】

	10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶・オリエンテーション	講義 ・〇〇県の農業の概要 ・農業経営と農業金融の特徴	講義 ・農業経営体への融資提案 ※稲作・野菜・酪農・養豚・肉牛・果樹から2つ選択 ・営農類型別の特徴	(昼食)	ケーススタディ 「野菜」または「肉牛」の計5種から1つ選択 または、経営改善資金計画書の策定演習（「稲作」または「農家からの借入申込への対応演習（「野菜」または「養豚）」	*適宜休憩	行動計画書の作成	まとめ・閉講挨拶
時間	20	50	70	60	180		20	10

事前課題	あり	◇「減価償却費」と「経費から差し引く果樹、牛馬等の育成費用」について調べて理解する（所定様式に記載し当日持参）
事後課題	なし	

- ★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、区域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
- ★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。
- ★ 1日研修として設計しているが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可（区域の状況等を踏まえ、ご検討いただくことを想定）。